

平成21年度

厚生労働省がん研究助成金によるシンポジウム(研究者向け)

「わが国におけるTRの課題とその克服」

わが国において基礎と臨床の橋渡し研究（TR）が進まず、結果的に新しい医薬品医療機器開発の遅れをきたしています。開発の基礎となる研究はわが国から数多く発信され、国内の臨床研究の基盤整備も近年著しく進んでいます。その間となる橋渡しを円滑に進めるには、規制面での基準をクリアするとともに企業との連携が必須です。わが国のTRの課題とその克服について各界の代表者の方にご講演・討論いただき、わが国発の新しい医薬品医療機器開発を目指すための方向性を探ります。

基調講演

「わが国におけるTRの課題とその克服」

財団法人先端医療振興財団での経験から

村上雅義／財団法人先端医療振興財団

前臨床から臨床導入時の問題点とその克服

1) 「前臨床試験における問題点とその克服」

アカデミア・ベンチャー企業の立場から

松村保広／国立がんセンター東病院臨床開発センター

花田博幸／ナノキャリア株式会社

2) 「前臨床試験における問題点とその克服：規制の視点から」

川西 徹／国立医薬品食品衛生研究所

3) 「がんワクチン療法の臨床導入への問題点」

中面哲也／国立がんセンター東病院臨床開発センター

4) 「アカデミア発シーズの知財に関する諸問題」

大磯義一郎／国立がんセンターがん対策情報センター

早期臨床試験の問題点とその克服

1) 「First in human trial における規制面での国内外差」

山本弘史／国立がんセンター中央病院

2) 「わが国における早期探索的臨床試験の現状と問題点」

井上謙吾／(財)しずおか産業創造機構ファルマバレーセンター

3) 「企業側からみたわが国のアカデミア発TRの問題点」

岩崎 甫／欧州製薬団体連合会（EFPIA）

4) 「先端医療開発特区の目指すもの」

経済産業省製造産業局生物化学産業課

5) 「先端医療開発特区でのコーディネート・支援体制」

佐藤暁洋／国立がんセンター東病院臨床開発センター

日時 平成21年11月7日(土) 9:00～15:00

場所 主会場 国際研究交流会館3階 国際会議場 (国立がんセンター内 定員数：180)

中継会場 (テレビ会議システムによる同時中継)

国立病院機構北海道がんセンター (175)

青森県立中央病院 (20)

宮城県立がんセンター (80)

山形県立がん・生活習慣病センター (50)

茨城県立中央病院 (30)

群馬県立がんセンター (100)

千葉県がんセンター (100)

新潟県立がんセンター新潟病院 (30)

静岡県立静岡がんセンター (40)

国立病院機構名古屋医療センター (40)

愛知県がんセンター中央病院 (50)

岐阜大学医学部附属病院 (74)

大阪府立病院機構大阪府立成人病センター (100)

国立病院機構呉医療センター (30)

国立病院機構四国がんセンター (180)

国立病院機構九州がんセンター (80)

大分県立病院 (40)

国立がんセンター東病院 (50)

(カッコ内は定員数です。各会場とも満員の際はご入場できないこともございますので、あらかじめご了承ください。)

事務局 国立がんセンター がん対策情報センター がん対策企画課 研究企画室

東京都中央区築地5-1-1 TEL: 03(3542)2511 (内線2330)

FAX: 03(3542)2401

E-mail: gannjokk@ml.res.ncc.go.jp